

## 高知県金融経済概況

### 【概 論】

高知県の景気は、緩やかに持ち直している。

前回の概況公表時（11月中旬）以降の県内景気をみると、個人消費は堅調に推移している。観光は持ち直している。公共投資は横ばい圏内で推移している。設備投資は持ち直しの動きが続いている。住宅投資は減少している。この間、製造業の生産は一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。そうしたもと、労働需給は、引き締まった状態となっている。雇用者所得（名目ベース）は着実に増加している。

先行きについては、企業・家計の両部門において、所得から支出への前向きな循環が続くもとで、緩やかに持ち直していくとみられる。ただし、①コスト上昇と価格転嫁の動向、②人手不足の影響と賃金の動向、③海外経済の動向の影響等について、注視していく必要がある。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別の動向

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、24/11月は前年を下回った（24/11月前年比：▲23.6%）。

設備投資は、持ち直しの動きが続いている。

2024年度の設備投資額（24/12月短観）は、製造業を中心に前年度を上回る計画となっている（全産業前年度比：+4.1%）。

この間、企業からみた生産設備や営業用設備の過不足感（24/12月短観）は、過剰超となっている（生産・営業用設備判断D. I. <「過剰」－「不足」>：+5）。

**個人消費は、堅調に推移している。**

大型小売店<sup>1</sup>の販売動向は、季節商材の販売動向の振れを伴いつつも、全体としては堅調に推移している。コンビニエンスストアの販売動向は、堅調に推移している。家電量販店の販売動向は、弱めの動きとなっている。乗用車新車登録台数（24/10月前年比：▲4.1%）、旅行取扱高は、持ち直している。

**観光は、持ち直している。**

24/10月の県内の主要観光施設への入込客数（24/10月前年比：▲18.6%＜速報値＞）は、前年を下回った。主要旅館・ホテルの宿泊客数（同：+1.6%）は、前年を上回った。

**住宅投資は、減少している。**

24/10月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った（24/10月前年比：▲14.7%）。

## 2. 生産

**製造業の生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。**

機械は、一部で弱めの動きとなっている。食料品、窯業・土石製品、鉄鋼は、横ばい圏内で推移している。パルプ・紙・紙加工品は、緩やかに持ち直している。

## 3. 雇用・所得

**労働需給は、引き締まった状態となっている。**

24/10月の有効求人倍率は、前月を上回った（24/10月：1.12倍）。

この間、企業からみた雇用人員の過不足感（24/12月短観）は、不足超となっている（雇用人員判断D.I.＜「過剰」－「不足」＞：▲31）。

**雇用者所得（名目ベース）は、着実に増加している。**

24/9月の1人当りの現金給与総額は、前年を上回った（24/9月前年比：+4.2%＜速報値＞）。

## 4. 物価

**消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、足もとでは2%台前半となっている（24/10月前年比：+2.2%）。**

<sup>1</sup> 県内の百貨店、ショッピングセンター、スーパー等。

## 5. 企業倒産

企業倒産は、感染症拡大前の水準となっている(24/11月:倒産件数3件<前年1件>、負債総額211百万円<同10百万円>)。

## 6. 金融

実質預金(銀行、信金、信組)は、前年を下回っている(24/10月末残前年比:▲0.1%)。

貸出(同)は、前年を下回っている(同:▲1.1%)。

貸出約定平均金利(銀行、信金)は、前月を上回っている(24/10月:1.244%)。

以 上

---

### 【本文中の使用計数等の出所】

- ・ 乗用車新車登録台数:四国運輸局「自動車保有台数と販売状況速報」、主要観光施設への入込客数:高知県「月別観光施設利用実績」、新設住宅着工戸数:国土交通省「建築着工統計調査報告」、公共工事請負金額:西日本建設業保証株式会社「高知県内の公共工事動向」、有効求人倍率:厚生労働省「一般職業紹介状況」、現金給与総額:高知県「毎月勤労統計調査地方調査」、消費者物価(高知市、生鮮食品を除く総合):総務省「消費者物価指数」、企業倒産:東京商工リサーチ「高知県企業倒産状況」。
- ・ その他の項目は、日本銀行高知支店が個別に収集したもの。
- ・ なお、利用統計は公表月によって異なる。